

令和3年度



御船町社会福祉協議会事業報告書



目 次

1 基本報告	2	③生活たすくるサービス事業	15
2 重点努力目標	3	④生活支援体制整備会事業	15
3 事業の実施状況		⑤御船町コミュニティセンター管理	16
(1) 法人運営・基盤強化	4～5	⑥法律心配ごと相談	16
(2) 広報・啓発	6	⑦重層的支援体制整備移行準備事業	16～17
(3) 地域福祉事業	6～8	⑧生活福祉資金貸付事業	17
(4) 高齢者福祉事業	8～10	⑨地域権利擁護事業	17～18
(5) 障がい児・者福祉事業	10	⑩生活困窮者自立相談支援事業	18
(6) 児童青少年福祉事業	10～11	(9) その他の事業	
(7) ボランティア活動事業	11	①日赤事業	18～19
(8) 委託事業		②赤い羽根共同募金事業	19～20
①介護予防・日常生活支援総合事業	12～15		
②介護予防・生活支援サービス事業	13～15		

1. 基本報告

国は「地域共生社会の構築」を次の時代の大きな目標にしています。

令和2年度は地域共生社会の実現に向けた国のモデル事業「身近な相談拠点の設置事業」、令和3年度からは法定化された「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」を町より受託して取り組んでいます。

重層的支援体制整備事業とは、複雑化・複合化した生活課題を抱え「生きづらさ」を感じている人を支援していく事業です。既存の支援機関や専門職と連携し負担を軽減しながら、地域の支援力の限界点を引き上げ、効果的に支援を行っていく事業です。包括化推進員1名の配置、くらしの相談窓口の設置、情報共有連絡会（多機関協働事業）の開催、対象者の伴走支援等を行っています。地域の中で住民同士が気に掛け合い、助け合う地域づくりに向けた支援も重要な取り組みです。令和5年度からの本事業移行に向けて社会福祉士1名を含む4名の職員を採用し体制の強化を図っています。

社協の自主財源を活用した事業として、地域の福祉ニーズを踏まえたうえで、対象者や事業内容の充実を図るなど、地域特性を考慮した福祉活動の推進に努めました。具体的には、既存事業を通して個人や地域の課題を把握し、中山間部への「ふくしの相談会」や将来の生活困窮を予防する「こども塾」等に取り組みました。

社協の経営の原則として、自主的な経営基盤の強化と提供する福祉サービスの質の向上等が定款に記載されています。社協賛助会員制度は、会費というかたちで福祉活動にご協力いただく、助け合い・支え合いの制度です。熊本地震を機に社協賛助会員が減少しており、制度の拡充と自主財源の拡大に努めました。

未だに猛威を振るう「新型コロナウイルス感染症」。令和3年度は、特性や感染が起きやすい状況についての知見が深まりワクチン接種も進みましたが、依然として収束は見えません。長期のコロナ禍は、私たちの日々の生活と社会経済活動等に大きな影響を及ぼしています。引き続き感染防止対策の徹底を図りながら社会福祉協議会の様々な事業に取り組んでいきます。

2. 重点努力目標

(1) 重層的支援体制整備事業への移行準備

令和5年度からの本事業へ向けて体制づくりを行った。

組織再編として地域福祉係を「相談支援班」と「地域支援班」に分け、それぞれが連携し事業推進を図っている。

また、相談支援班には社会福祉士1名を含む、4名の職員を採用し体制の強化を行った。

以前から行っていた朝礼や職員会議で地域の情報を職員間で共有するとともに、多機関との情報共有に関しては月に1回の情報共有連絡会議を開催。複雑な課題に関しては多機関協働として町以外の関係機関も交えた会議も行っている。

調整役として包括化推進員1名を配置し、本事業に対しての関係各署の理解を深めるために、町の包括ケア推進会議で説明やモデルケースの検討等を行った。

(2) 福祉ニーズの把握及び地域特性を考慮した福祉活動推進

既存の事業である「地域サロン」や「見守りネットワーク事業」、委託事業の「元気クラブ」等で、個人や地域の課題を把握し、よりよい支援につながるよう職員内で検討したり、多機関へつないでいる。

今年度は中山間部へのアウトリーチのひとつとして「ふくしの相談会」や将来の生活困窮を予防する「こども塾」等を実施した。こども塾に関しては厚生労働省が監修する公益事業の先駆的な取り組み事例として全国的に紹介された。

(3) 社協賛助会員制度の拡充と自主財源の拡大

熊本地震を機に社協賛助会員が減少していたが、3年度は町職員に主旨を説明し、67名の賛同を得た。一般会員、賛助会員共に増加した。（詳細はP5参照）

3. 【事業の実施状況】

(1) 法人運営・基盤強化

実施項目	活動内容	決算書
①社協理事・評議員会の開催	①理事会の開催（年3回） 5/25（書面決議）、6/9、3/25 ②評議員会の開催（年2回） 6/9、3/25 ③評議員選任・解任委員会の開催（年1回） 6/4	
②社協役員・職員研修	①社協役員研修はコロナ禍のため中止 ②社協運営・基盤強化に関連する研修に参加 7/7 市町村社協連合会総会（パレア） 9/28 福祉職場OJT研修（リモート） 11/26 経営基盤研修（リモート） 11/30 会計研修（KKR） 12/7 安全運転管理者講習（合志市ヴィーブル） 12/16 インボイス説明会（東税務署） 1/20 郡内社協事務局長意見交換会（上益城地域振興局） 2/15 社会福祉法人制度改革セミナー（リモート） 2/25 法令関係研修会（リモート） 町事業への協力 民生委員児童委員協議会定例会 年9回 地域公共交通活性化協議会会議 年5回 地域包括支援センター運営協議会（町） 介護施設事業選定委員会（リモート） 健康長寿の町づくりフォーラム（共催） 町災害義援金配分委員会（町） 健康づくり推進会議（保健センター） 町指定管理者検証委員会（町）	法人運営 事業

	<p>県への協力 熊本県やさしいまちづくり推進協議会（書面開催）</p> <p>③発表・講演</p> <p>4/17 熊本災害支援フォーラム（熊本YMCA主催）</p> <p>7/20 トップセミナー（県社協主催）</p> <p>7/20 市町村社協新人職員研修（県社協主催）</p> <p>3/17 八代・芦北・津奈木・球磨地域支え合いセンター研修（県社協主催）</p> <p>④内部研修</p> <p>毎月1回 社協職員会議</p> <p>毎月1回 社協運営会議</p> <p>年2回 消防設備点検・消火訓練</p> <p>9/30 服務研修（臨時職員対象）</p>	法人運営 事業																									
③社協財源の安定的確保	<p>①町職員や社協役員、社協臨時職員にも賛助会員への賛同を呼びかけた。</p> <p>会費 3,181,000円（165,500円増）</p> <table border="1" data-bbox="786 853 1727 1098"> <thead> <tr> <th>会員種別</th> <th>会費</th> <th>会員数</th> <th>増減</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別会員</td> <td>10,000円</td> <td>12</td> <td>0</td> <td>120,000円</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>1,000円</td> <td>446</td> <td>56増</td> <td>446,000円</td> </tr> <tr> <td>一般会員</td> <td>500円</td> <td>4,506</td> <td>173増</td> <td>2,253,000円</td> </tr> <tr> <td>法人会員</td> <td></td> <td>41</td> <td>3増</td> <td>362,000円</td> </tr> </tbody> </table>	会員種別	会費	会員数	増減	金額	特別会員	10,000円	12	0	120,000円	賛助会員	1,000円	446	56増	446,000円	一般会員	500円	4,506	173増	2,253,000円	法人会員		41	3増	362,000円	
会員種別	会費	会員数	増減	金額																							
特別会員	10,000円	12	0	120,000円																							
賛助会員	1,000円	446	56増	446,000円																							
一般会員	500円	4,506	173増	2,253,000円																							
法人会員		41	3増	362,000円																							
④災害ボランティアセンター設置に係る町、他機関との協定準備	<p>①11/19 町と災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定締結</p> <p>②御船ライオンズクラブと災害ボランティアセンター支援に関する協定締結に向け準備中</p>	地域福祉 推進事業																									
⑤BCP（事業継続計画）の作成	<p>①BCP委員会を立ち上げ、4回の検討会を開催。災害時及び新型コロナウイルス感染症でのクラスター発生時の事業計画が完成した。今後は年に1回見直しをしていく。</p>																										

⑥第3者委員の配置	①福祉サービス利用者等からの苦情の適切な解決に努め、 適正な運営を実施するため第3者委員を2名配置。 ②研修 11/22 第3者委員苦情解決研修（オンデマンド）	苦情件数	0件
		相談件数	0件

(2) 広報・啓発

実施項目	活動内容	決算書
①社協だよりの発行	①年4回から6回にしたことで旬な情報をお届けできた。また社協クイズや編集後記も開始した。クイズの当選者には抽選でクオカードをして進呈している。	共同募金配分事業
②ホームページの更新	①社協活動、福祉サービスの制度について新しい情報を更新した。閲覧者数は累計97,000人程度である。	法人運営事業
③社協ガイドブックの全戸配布	①現在作成中であり、令和4年度配布予定。	地域福祉推進事業
④熊本地震活動記録誌「つなぐ」の全戸配布	①平成28年4月に発生した熊本地震における5年間の活動記録であり、災害ボランティアセンターと令和3年3月に閉所した地域支え合いセンターの報告である。（全50ページ）全町民および関係機関、ボランティアに配布した。	

(3) 地域福祉事業

実施項目	活動内容	決算書			
①災害世帯への見舞金	① 災害件数 0件	地域福祉推進事業			
②寄附金の受付	① 寄付内訳		香典返し	180件	4,144,000円
			一般寄付	15件	49,616円
			合計	195件	4,193,616円

③地区社協及び
見守りネットワーク活動支援

- ①地区社協活動の支援（木倉・七滝・田代東部地区社協）
- 7/12 地区社協助成金交付、意見交換会
 - 7/31 七滝地区社協連絡会
 - 10/22 七滝地区中山間地域福祉推進モデル事業意見交換会
 - 11/20 木倉校区社協連絡会
 - 12/4 田代東部地区社協連絡会、独居高齢者友愛訪問
 - 3/24 七滝地区中山間地域福祉推進モデル事業意見交換会
- ②活動費の助成 地区社協・見守りネットワーク活動地区
- ③ネットワーク活動支援 ※別表1参照
- 年に2回の連絡会のうち1回は社協職員も参加し、地域の課題や地区で気になる方を情報の把握に努めている。 24地区に参加した。

取り組み 行政区数	H29	H30	R1	R2	R3
	54	52	53	53	53

④見守りネットワーク未設置地区へのアプローチ

- 7/9 民協定例会での説明
- 12/22 区長会での説明
- 1/9 滝尾校区説明会
- 1/22 餅畑区説明会



3行政区が令和4年度より見守りネットワーク活動予定

④要援護者の把握


- ①現状把握 民生委員の協力で生活実態に沿った世帯の把握を行っている。
- 4月 一人暮らし高齢者 813名
 - 高齢者のみ世帯 917世帯
 - 11月 重度在宅介護高齢者 71名
- ②見守りネットワーク要援護者の把握 413世帯 取り組み地区 53地区
- ③緊急安心カード設置世帯数の把握 710世帯 取り組み地区 全地区

地域福祉
推進事業

⑤成年後見制度についての相談	①地域福祉権利擁護事業や生活困窮者自立相談支援事業、くらしの相談窓口で成年後見に関わる相談を受け、関係機関と連携し相談支援を行った。 ・地域福祉権利擁護事業からの成年後見への移行 2名 ・成年後見制度に関わる相談支援 5名 ②郡内中核機関設置に係る会議に参加（上益城郡5町、5社協）	
⑥預かりサービス	①金銭管理等に不安のある方の現金及び重要書類等を一時的に預かり、支援を行った。 サービス利用者 7名	
⑦災害公営住宅・単独住宅支援	①ハイリスク者の訪問 年間21日 延べ395件訪問 ②地域と住宅との交流会はコロナ禍のため開催できなかった。	
⑧生活支援世帯への歳末見舞金配付	①民生委員の調査や社協の事業での関わりで把握した生活困窮の世帯に対し、安心してお正月を迎えられるように歳末たすけあい募金より見舞金を配付した。 ・12/2 生活支援世帯審査会を開催（福祉課、民協会長、副会長、社協） ・9世帯 19名に配付	共同募金配分事業
⑨食料等緊急一時支援	①一時的に生計維持が困難となられた世帯に対し、食料等現物の給付支援を行った。 ・15名に給付 ・食料等は購入の他、フードバンクや企業からの寄付で対応している。	

（４）高齢者福祉事業

実施項目	活動内容	決算書
①配食サービス	①毎週水曜日、一人暮らし等高齢者に対し孤独感の解消に努めると共に安否確認を行う。 個人負担金（1食 300円） 年間 2,119食 毎週1回（+984食） 利用人数 29名 → 50名	共同募金配分事業

<p>②住民参加型生活支援サービスの支援</p>	<p>①水越地域活性化協議会への助成 1食150円の助成 利用人数 62名 毎月1回 年間 753食 (+156食)</p>													
<p>③地域サロンの活動支援助成</p>	<p>①サロン数 70行政区 71サロン ※別表2参照 休止中サロン 5サロン</p> <table border="1" data-bbox="645 392 1724 539"> <thead> <tr> <th></th> <th>回数</th> <th>実人数</th> <th>延べ人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年</td> <td>799回</td> <td>850名</td> <td>7,118名</td> </tr> <tr> <td>令和2年</td> <td>780回</td> <td>869名</td> <td>7,156名</td> </tr> </tbody> </table> <p>②職員派遣 44サロンに支援 計63回 ③サロン保険加入 ④サロン関係者研修・相談会の開催 ・7/7、8、14、15、16 サロン研修および助成金の交付 ・2/3、4、7、8、9、16 サロン相談会 (5か所) ⑤レクリエーション用品貸出 34回 ⑥新規サロンの立ち上げ支援 「滝川ばらサロン」 お試しサロン13回開催 ⑦町内介護施設職員および企業やボランティアの派遣調整はコロナ禍のためできず。</p> 		回数	実人数	延べ人数	令和3年	799回	850名	7,118名	令和2年	780回	869名	7,156名	<p>地域福祉推進事業</p>
	回数	実人数	延べ人数											
令和3年	799回	850名	7,118名											
令和2年	780回	869名	7,156名											
<p>④福祉協力員活動支援</p>	<p>①民生委員と連携し、高齢者の友愛訪問やサロン活動を支援しながら安否確認を行う。</p> <table border="1" data-bbox="786 1062 1592 1209"> <tbody> <tr> <td>福祉協力員数</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>活動件数</td> <td>延べ 5,606件 (163件減)</td> </tr> <tr> <td>活動日数</td> <td>延べ 3,543日 (82日増)</td> </tr> </tbody> </table> <p>②研修を企画し、協力員のスキルアップを図る。 1回目 7/5 「福祉協力員の役割と活動について」 2回目 11/5 「コロナ禍で出来るレクリエーション」</p>	福祉協力員数	51名	活動件数	延べ 5,606件 (163件減)	活動日数	延べ 3,543日 (82日増)							
福祉協力員数	51名													
活動件数	延べ 5,606件 (163件減)													
活動日数	延べ 3,543日 (82日増)													

⑤重度在宅高齢者への見舞金配付	①民生委員を通じて把握 概ね介護3以上の在宅高齢者世帯を対象 12月に71名に配付 1名につき 5,000円	共同募金 配分事業
⑥在宅介護者のつどい	①つどいの代替として、癒しセットを117世帯に民生委員を通じて配付。	
⑦老人会の支援	①コロナ禍で要請無し。補助金交付のみ実施。	
⑧シルバーヘルパーとの連携	①コロナ禍で要請無し。	

(5) 障がい児・者福祉事業

実施項目	活動内容	決算書
①車いすの無料貸し出し	①保有台数15台 59台貸出 コロナワクチン接種により町に長期貸出	共同募金 配分事業
②各種団体への支援	①団体への活動支援として補助金交付	
③障がいに対する理解・啓発	①小学校で「ユニバーサルデザインと車いすの使い方について」福祉授業を行った。 7/7 小坂小学校6年生 9/1 御船小学校6年生	

(6) 児童青少年福祉事業

実施項目	活動内容	決算書								
①ボランティア協力校 8校 (社協指定)	①学校内外における社会福祉に関する学習や体験活動を通じボランティア意識の啓発を図る。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>小学校</td> <td>6校</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>高校</td> <td>1校</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8校</td> </tr> </table>	小学校	6校	中学校	1校	高校	1校	計	8校	共同募金 配分事業
小学校	6校									
中学校	1校									
高校	1校									
計	8校									
②ボランティアスクール・ワークキャンプの実施	①ボランティアスクール・ワークキャンプ コロナ禍のため中止									



③ひとり親世帯入学祝金配付	①小学校入学 8名 中学校入学 15名	共同募金 配分事業
④夏休み・冬休みこども塾 令和3年度新規事業	<p>①将来の生活困窮者の予防として、子どもの頃からお金の使い方を学んだり、簡単な食事が作れるように企業や法人の協力で行う体験型事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みこども塾：グリーンコープ協力のもと、ファイナンシャルプランナーを講師に迎え、ゲームで金銭感覚を身につける。小学3～4年生 11名参加 ・冬休みこども塾：九州電力（株）熊本東営業所協力のもと、IHクッキングヒーターでクリスマスケーキを作製。社協の管理栄養士からは「朝ごはんの大切さ」九州電力からは「電気の安全な使い方」の話を行う。 小学3～6年生 7名参加 ・子ども達には社協職員が手づくりした缶バッジをプレゼントした。 	

(7) ボランティア活動事業

実施項目	活動内容	決算書
①ボランティアセンターの 運営の充実	<p>①ボランティアの育成と組織化を促進する目的で、「個人・団体ボランティア」の登録を導入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録者は個人6名、2団体が登録中だが、マッチングには至らなかった。 	共同募金 配分事業
②ボランティア連絡協議会の 活動支援	<p>①ボランティアセンター事務局として、地域のボランティア活動の振興に務めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県ボランティア連絡協議会総会（書面審議） ・6/28 御船町ボランティア連絡協議会総会 ・ボランティア連絡協議会活動助成金交付 ・7月予定のシンボルロード草取りはコロナ禍のため中止 ・火の国ボランティアフェスティバル（芦水） コロナ禍のため中止 <p>②11/6 環境美化活動、シンボルロード草取り（約60名）社協、シルバー人材センター共催</p>	
④青少年ボランティア活動の推進	①P10の（6）参照	

⑤研修会	①2/10 ボランティアセンター機能強化推進会議（リモート）	
------	--------------------------------	--

(8) 受託事業（町委託）

実施項目	活動内容	決算書																																																																																																																					
①介護予防・日常生活支援総合事業 一般介護予防事業（通所型） 事業名：元気クラブ	<p>①健康寿命の延伸を目的に身体、口腔、頭の体操、レクリエーション、交流などを行う教室。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>②事業実績（元気クラブ・ホテルの学校）</p> <table border="1" data-bbox="645 798 1989 1433"> <thead> <tr> <th>校区</th> <th>開催回数</th> <th>実人数</th> <th>平均年齢</th> <th>男性数</th> <th>合計</th> <th>1回平均</th> <th>新規者</th> <th>終了</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>高木</td><td>13</td><td>12</td><td>84.0</td><td>1</td><td>129</td><td>9.9</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>御船</td><td>13</td><td>23</td><td>83.4</td><td>0</td><td>140</td><td>10.8</td><td>4</td><td>6</td></tr> <tr><td>七滝</td><td>15</td><td>7</td><td>88.4</td><td>1</td><td>45</td><td>3.0</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>上野</td><td>15</td><td>10</td><td>86.1</td><td>2</td><td>82</td><td>5.5</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>水越</td><td>14</td><td>10</td><td>90.0</td><td>2</td><td>65</td><td>4.6</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>滝尾</td><td>13</td><td>11</td><td>87.1</td><td>2</td><td>86</td><td>6.6</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>田代東部</td><td>14</td><td>14</td><td>85.5</td><td>4</td><td>116</td><td>8.3</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>田代西部</td><td>14</td><td>9</td><td>84.4</td><td>1</td><td>78</td><td>5.6</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>木倉</td><td>15</td><td>20</td><td>82.4</td><td>4</td><td>184</td><td>12.3</td><td>2</td><td>3</td></tr> <tr><td>小坂</td><td>12</td><td>16</td><td>81.1</td><td>6</td><td>135</td><td>11.3</td><td>1</td><td>5</td></tr> <tr><td>ホテルの学校</td><td>9</td><td>25</td><td>87.6</td><td>6</td><td>102</td><td>11.3</td><td>0</td><td>6</td></tr> <tr><td>計</td><td>147</td><td>157</td><td>85.5</td><td>29</td><td>1162</td><td>8.1</td><td>14</td><td>34</td></tr> </tbody> </table>	校区	開催回数	実人数	平均年齢	男性数	合計	1回平均	新規者	終了	高木	13	12	84.0	1	129	9.9	0	1	御船	13	23	83.4	0	140	10.8	4	6	七滝	15	7	88.4	1	45	3.0	1	2	上野	15	10	86.1	2	82	5.5	2	2	水越	14	10	90.0	2	65	4.6	0	3	滝尾	13	11	87.1	2	86	6.6	2	2	田代東部	14	14	85.5	4	116	8.3	1	3	田代西部	14	9	84.4	1	78	5.6	1	1	木倉	15	20	82.4	4	184	12.3	2	3	小坂	12	16	81.1	6	135	11.3	1	5	ホテルの学校	9	25	87.6	6	102	11.3	0	6	計	147	157	85.5	29	1162	8.1	14	34	地域介護 予防活動 支援事業
校区	開催回数	実人数	平均年齢	男性数	合計	1回平均	新規者	終了																																																																																																															
高木	13	12	84.0	1	129	9.9	0	1																																																																																																															
御船	13	23	83.4	0	140	10.8	4	6																																																																																																															
七滝	15	7	88.4	1	45	3.0	1	2																																																																																																															
上野	15	10	86.1	2	82	5.5	2	2																																																																																																															
水越	14	10	90.0	2	65	4.6	0	3																																																																																																															
滝尾	13	11	87.1	2	86	6.6	2	2																																																																																																															
田代東部	14	14	85.5	4	116	8.3	1	3																																																																																																															
田代西部	14	9	84.4	1	78	5.6	1	1																																																																																																															
木倉	15	20	82.4	4	184	12.3	2	3																																																																																																															
小坂	12	16	81.1	6	135	11.3	1	5																																																																																																															
ホテルの学校	9	25	87.6	6	102	11.3	0	6																																																																																																															
計	147	157	85.5	29	1162	8.1	14	34																																																																																																															

②介護予防・生活支援サービス事業
(通所型)

事業名：いきいきトレーニング教室

②事業実績 (いきいきトレーニング教室)

校区	開催回数	実人数	平均年齢	男性数	合計	1回平均	新規者	終了
いきいき(平坦・火)	26	17	82.2	3	215	8.3	5	6
いきいき(平坦・金)	27	11	82.3	4	111	4.1	3	7
いきいき(山間)	28	14	84.1	2	256	9.1	3	2
計	81	42	82.9	9	582	7.2	11	15
総合計	228	199	84.2	38	1744	7.7	25	49

令和3年度は、新型コロナによるまん延防止等重点措置のため、年間136回の休止があった。

(元気クラブ：79回、ホタルの学校：3回、いきいきトレーニング教室：54回)

- ・休止期間には電話による安否確認や独居者には訪問を行った。

訪問件数 177件

電話確認 1,043名

- ・認知症予防のために脳トレ集を発送した。

③教室では通常のプログラムの他に、以下の健康教育に取り組んでいる。

時期	職種名	健康教育内容
6、12月	健康運動指導士	基本チェックリスト、体力測定
7月	歯科衛生士	アンケート、講話「熱中症予防について」
4、9月	管理栄養士	味噌汁塩分測定、講話「人はパンのみで生きるにあらず」
10月	看護師	誤嚥性肺炎について、コロナワクチン接種、感染予防について



介護予防・
生活支援
事業
(通所型)

④永年勤続表彰
令和3年に2年分表彰した。

	5年	10年
令和2年	5名	5名
令和3年	26名	8名



⑤利用者の送迎

教室名	回数	延べ利用者数
元気クラブ	138	828名
水越ホテルの学校	9	62名
いきいきトレーニング教室	81	539名

⑥介護予防・生活支援サポーターに関すること

- ・養成講座：8/23、8/30、9/6、9/13 4日間開催（町民憩の家） 8名受講修了
- ・代表者会議：7/26（町第一分庁舎）
- ・全体研修：11/19 健康長寿の町づくりフォーラム（加チャセンター）共催 78名参加

活動実績

（単位：名）

	登録者数	新規登録者	介護予防のみ	サロンのみ	両方	未活動	退会	平均年齢
高木	38	2	1	23	5	12	0	67.4
御船	81	2	3	48	7	19	2	73.2
西部	20	0	13	0	0	7	0	68.6
七滝	32	0	1	20	6	7	2	76.5
上野	28	0	1	18	4	5	0	73.1
水越	25	1	10	1	5	10	1	71.1
滝尾	23	3	0	9	5	8	0	70.1
東部	30	0	0	20	4	5	0	73.3
木倉	66	0	1	32	10	19	1	74.7
小坂	57	0	4	24	8	19	0	72.0
合計	400	9	34	195	54	111	6	72.0

	<p>⑦研修・会議等 6/16 介護予防事業評価会 8/3 運動器機能評価システム研修（リモート）</p>													
<p>③介護予防・生活支援サービス事業 （訪問型） 事業名：生活たすくするサービス</p>	<p>①養成講座：12/6 3名受講修了 ②フォローアップ研修：10/4開催 9名参加 ・実績報告 ・腰痛対策（講師：上益城リハビリテーション広域支援センター理学療法士）</p> <p>③実績</p> <table border="1" data-bbox="786 528 1462 678"> <thead> <tr> <th>登録数</th> <th>利用者数</th> <th>活動数</th> <th>活動延べ時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43名</td> <td>13名</td> <td>14名</td> <td>339.5時間</td> </tr> <tr> <td>2名増</td> <td>6名減</td> <td>2名減</td> <td>151時間減</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">（増減）</p> <p>・まん延防止等重点措置のためサービスが一時中断した。</p>	登録数	利用者数	活動数	活動延べ時間	43名	13名	14名	339.5時間	2名増	6名減	2名減	151時間減	<p>介護予防・ 生活支援 事業 （訪問型）</p>
登録数	利用者数	活動数	活動延べ時間											
43名	13名	14名	339.5時間											
2名増	6名減	2名減	151時間減											
<p>④生活支援体制整備事業</p>	<p>①生活支援コーディネーターの配置・事業 ・月1回 生活支援体制整備会議 ・月1回 自立支援型ケア会議 ・年6回 地域包括ケア推進会議 ・人生100歳クラブの支援 ・チームオレンジの立ち上げに参加 ・上益城リモート体操の支援 ・第8期中山間地域福祉推進モデル事業（七滝地区）への協力</p> <p>②スキルアップ 7/13 認知症キャラバン・メイト会議 10/12 Webセミナー生活支援コーディネーターカフェ（リモート） 11/15 御船町キャラバン・メイト会議 11/16 生活支援コーディネーター養成研修（リモート）</p>	<p>地域福祉 推進事業</p>												



	<p>12/3 生活支援コーディネーター連絡会議（リモート） 12/16 第2回生活支援コーディネーターカフェWebセミナー（リモート） 2/9 生活支援コーディネーター研究協議会（リモート） 3/17 認知症キャラバンメイト会議 3/18 第3回生活支援コーディネーターWebセミナー（リモート）</p>																									
<p>⑤御船町コミュニティセンター 管理</p>	<p>①利用実績</p> <table border="1" data-bbox="916 413 1724 560"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> <th>利用料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ひばり荘</td> <td>1,410名</td> <td>165,460円</td> </tr> <tr> <td>滝川みんなの家</td> <td>123名</td> <td>13,530円</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	利用者数	利用料	ひばり荘	1,410名	165,460円	滝川みんなの家	123名	13,530円	<p>御船町 コミュニティ センター事業</p>															
施設名	利用者数	利用料																								
ひばり荘	1,410名	165,460円																								
滝川みんなの家	123名	13,530円																								
<p>⑥法律心配ごと相談</p>	<p>①月に1回、弁護士、行政相談委員、人権擁護委員による無料相談 まん延防止等重点措置のため5月は中止 ②相談件数 48件（56名） ③相談内容</p> <table border="1" data-bbox="916 762 1991 909"> <thead> <tr> <th>離婚</th> <th>4件</th> <th>家族</th> <th>3件</th> <th>財産</th> <th>18件</th> <th>人権</th> <th>4件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅</td> <td>2件</td> <td>苦情</td> <td>8件</td> <td>職業・生業</td> <td>2件</td> <td>生計</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>年金</td> <td>1件</td> <td>医療</td> <td>1件</td> <td>事故</td> <td>0件</td> <td>その他</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table>	離婚	4件	家族	3件	財産	18件	人権	4件	住宅	2件	苦情	8件	職業・生業	2件	生計	1件	年金	1件	医療	1件	事故	0件	その他	4件	<p>地域福祉 推進事業</p>
離婚	4件	家族	3件	財産	18件	人権	4件																			
住宅	2件	苦情	8件	職業・生業	2件	生計	1件																			
年金	1件	医療	1件	事故	0件	その他	4件																			
<p>⑦重層的支援体制整備事業への 移行準備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な相談拠点の設置事業 多機関協働による包括的支援 	<p>①「くらしの相談」窓口の設置。 既存の相談事業以外に分野や属性を超えて相談を受けた。</p> <table border="1" data-bbox="645 1066 1196 1118"> <tr> <td>「くらしの相談」件数</td> <td>177件</td> </tr> </table> <p>②包括化推進員を配置。 多機関と協働して伴走型の支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="645 1252 1196 1353"> <thead> <tr> <th>重層的支援会議</th> <th>情報共有連絡会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2回</td> <td>15回</td> </tr> </tbody> </table> <p>③中山間部5地区で「ふくしの相談会」を開催。 その他の地域では見守りネットワーク連絡会にて地域の課題を把握した。</p> <div data-bbox="1379 1075 1711 1329" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1760 1075 1973 1329" data-label="Image"> </div>	「くらしの相談」件数	177件	重層的支援会議	情報共有連絡会	2回	15回																			
「くらしの相談」件数	177件																									
重層的支援会議	情報共有連絡会																									
2回	15回																									

町企画財政課主催の「地域公共交通活性化協議会」の懇談会に参加。
地域の公共交通の実状、暮らしについての把握と共に、社協から情報提供を行った。

④こども塾の開催（P10～11参照）

- ・夏休みこども塾 8/11開催
- ・冬休みこども塾 12/25開催



- ⑤研修会
- | | |
|--------|--------------------------|
| 9/9、15 | ひきこもりサポーター養成講座（上益城地域振興局） |
| 10/5 | 重層的支援体制整備事業研修（リモート） |
| 12/23 | 地域共生推進人材養成研修（リモート） |
| 1/13 | 九州ブロック地域福祉研究会議（リモート） |
| 1/28 | 九州沖縄地域共生社会推進フォーラム（リモート） |

（県社協委託）

⑧生活福祉資金

①総合支援資金・福祉資金及び教育支援資金等の相談受付と新型コロナウイルス感染症発生による経済的な困りごとの相談受付、特例貸付等の申請業務を行った。

特例貸付

緊急小口資金	70件
総合支援資金	103件

②貸付者への償還業務

法人運営
事業
(事業費)

⑨地域福祉権利擁護事業

①認知症、精神・知的障がい等の判断能力低下がみられる方への福祉サービスの利用支援や金銭管理サービス等の相談支援を行った。障がいの特性により生活支援が増えている。

年間利用者数（実人数）		37名
内訳	認知症	16件
	知的障がい	17件
	精神障がい	4件

R3年度

- ・新規契約 12件
- ・解約 6件

R4.3.31の利用者数 31名

福祉サービス
利用援助
事業

	<p>②研修 8/3 地域福祉権利擁護事業生活支援員研修（オンデマンド） 8/26 福祉サービス第三者評価（県社協より来所） 9/30 地域福祉権利擁護事業担当者研修（リモート） 2/17 地域福祉権利擁護事業実務者研修（リモート）</p>																			
⑩生活困窮者自立相談支援事業	<p>①くらしの中のお金、仕事、家族のこと等 様々な総合相談と支援を行った。</p> <table border="1" data-bbox="1326 379 1856 528"> <tr> <td>新規相談件数（実人数）</td> <td>105件</td> </tr> <tr> <td>支援プラン作成</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>終結</td> <td>3件</td> </tr> </table> <p>②生活困窮者自立相談支援事業調整会議 へ参加し、支援プランの検討を行った。 毎月開催（郡内5町）</p> <table border="1" data-bbox="1326 576 1856 869"> <thead> <tr> <th colspan="2">任意事業等利用内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家計相談支援事業</td> <td>8件</td> </tr> <tr> <td>就労準備支援事業</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>就労支援事業（社協）</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>学習支援事業</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>住宅確保給付金</td> <td>3件</td> </tr> </tbody> </table> <p>③研修 12/7 生活困窮者自立支援制度人材養成研修（リモート）</p>	新規相談件数（実人数）	105件	支援プラン作成	11件	終結	3件	任意事業等利用内訳		家計相談支援事業	8件	就労準備支援事業	2件	就労支援事業（社協）	2件	学習支援事業	2件	住宅確保給付金	3件	法人運営 事業 (事業費)
新規相談件数（実人数）	105件																			
支援プラン作成	11件																			
終結	3件																			
任意事業等利用内訳																				
家計相談支援事業	8件																			
就労準備支援事業	2件																			
就労支援事業（社協）	2件																			
学習支援事業	2件																			
住宅確保給付金	3件																			

(9) その他の事業

実施項目	活動内容	決算書
①日赤事業の協力	<p>①赤十字運動月間（期間：5/17～6/24） 区長・婦人会に会員活動を依頼した。</p> <p>②日赤熊本県支部との連携 ・県内分区担当者会議（中止） ・事業計画、報告、調査等</p>	

③日赤会員内訳 (まん延防止等重点措置のため例年より会費徴収時期を遅くした)

会員名	会員数	会費	実績額	昨年との比較
一般会員	4,376名	500円	2,166,900円	225名減
特別会員	155名	2,000円	311,000円	1名減
法人会員	3社	10,000円	30,000円	0
有功章会員	1名		300,000円	0
新規特別会員	6名			1名増
特別会員章	9名			6名増
			2,807,900円	144,000円減

②赤い羽根共同募金事業

①共同募金月間 (期間：10/1～12/31)

区長・婦人会に募金活動を依頼した。

町内各事業所に職域募金、学校にも協力を依頼した。

実績 3,597,656円 (152,801円増)

内訳

戸別募金	2,299,000円	職域募金	592,300円
個人募金	26,034円	学校募金	111,475円
法人募金	409,000円	その他	159,847円

②自動販売機 実績 99,870円 (+15,211円)

③歳末募金 (歳末たすけあい募金) 1,460,200円 (+26,300円)

④御船町共同募金審査会の開催 6月9日開催

⑤ボラサポ九州住民支え合い活動助成事業の推進

- ・御船城山少年野球クラブ
- ・玉虫住宅南組 (地域交流会) (消火・避難訓練)
- ・古閑迫ヨガ・エアロビ会
- ・田代東部地区社会福祉協議会 (独居高齢者見守り活動)



共同募金
配分事業

	⑥補助金団体の拡大 ⑦研修 8/25、26 10/1 2/24	9団体 (+1 団体) 赤い羽根全国ミーティング (リモート) 赤い羽根伝達式 共同募金委員会事務局長会議 (KKR)	
--	--	--	--

以上のとおり報告します。

令和4年6月16日

令和3年度 法人単位資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収入	251 会費収入	2,800,000	3,181,000	△ 381,000		
	253 寄附金収入	4,300,000	4,193,616	106,384		
	254 経常経費補助金収入	17,948,000	17,949,414	△ 1,414		
	255 受託金収入	58,100,000	56,475,475	1,624,525		
	257 事業収入	340,000	313,990	26,010		
	258 負担金収入	2,792,000	2,070,450	721,550		
	270 受取利息配当金収入	10,000	3,324	6,676		
	271 その他の収入	235,000	223,295	11,705		
	事業活動収入計(1)		86,525,000	84,410,564	2,114,436	
	事業活動による支出	201 人件費支出	53,738,000	52,079,912	1,658,088	
202 事業費支出		18,646,000	17,332,333	1,313,667		
203 事務費支出		9,287,000	7,584,659	1,702,341		
209 共同募金配分金事業費		5,524,000	4,457,025	1,066,975		
事業活動支出計(2)		87,195,000	81,453,929	5,741,071		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 670,000	2,956,635	△ 3,626,635		
施設整備	施設整備等収入計(4)	0	0	0		
施設整備	222 固定資産取得支出	884,000	883,300	700		
	施設整備等支出計(5)		884,000	883,300	700	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△ 884,000	△ 883,300	△ 700		
その他の活動による収入	295 サービス区分間繰入金収入	8,803,000	0	8,803,000		
	その他の活動収入計(7)		8,803,000	0	8,803,000	
その他の活動による支出	234 基金積立資産支出	2,460,000	2,841	2,457,159		
	244 サービス区分間繰入金支出	8,803,000	0	8,803,000		
	245 その他の活動による支出	2,550,000	2,462,220	87,780		
	その他の活動支出計(8)		13,813,000	2,465,061	11,347,939	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△ 5,010,000	△ 2,465,061	△ 2,544,939		
予備費支出(10)		0	0	0		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		△ 6,564,000	△ 391,726	△ 6,172,274		
12 前期末支払資金残高(12)		6,564,000	50,216,402	△ 43,652,402		
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	49,824,676	△ 49,824,676		

令和3年度 法人単位事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

社会福祉法人 御船町社会福祉協議会

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	3,181,000	3,015,500	165,500
	寄附金収益	4,193,616	3,662,888	530,728
	経常経費補助金収益	17,949,414	20,236,600	△ 2,287,186
	受託金収益	56,475,475	78,827,526	△ 22,352,051
	事業収益	313,990	451,210	△ 137,220
	負担金収益	2,070,450	4,225,750	△ 2,155,300
	その他の収益	0	6,364,705	△ 6,364,705
	サービス活動収益計(1)	84,183,945	116,784,179	△ 32,600,234
	費用			
人件費	55,689,077	72,607,508	△ 16,918,431	
事業費	17,332,333	23,503,269	△ 6,170,936	
事務費	7,584,659	7,959,367	△ 374,708	
共同募金配分金事業費	4,457,025	3,805,836	651,189	
減価償却費	833,025	785,267	47,758	
サービス活動費用計(2)	85,896,119	108,661,247	△ 22,765,128	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 1,712,174	8,122,932	△ 9,835,106	
サービス活動	収益			
	受取利息配当金収益	3,324	3,944	△ 620
	その他のサービス活動外収益	223,295	243,630	△ 20,335
	サービス活動外収益計(4)	226,619	247,574	△ 20,955
	費用			
サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	226,619	247,574	△ 20,955	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 1,485,555	8,370,506	△ 9,856,061	
特別増減	収益			
	特別収益計(8)	0	0	0
	費用			
	特別費用計(9)	0	0	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 1,485,555	8,370,506	△ 9,856,061	
繰越活動増減差	前期繰越活動増減差額(12)	50,728,931	42,361,690	8,367,241
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	49,243,376	50,732,196	△ 1,488,820
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(16)	0	0	0
	その他の積立金積立額(17)	2,841	3,265	△ 424
	次期繰越活動増減差額(18=13+14+15+16-17)	49,240,535	50,728,931	△ 1,488,396

令和3年度 法人単位貸借対照表

令和4年3月31日現在

社会福祉法人 御船町社会福祉協議会

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	52,299,992	54,123,827	△ 1,823,835	流動負債	5,450,316	6,193,425	△ 743,109
現金預金	33,104,767	44,007,101	△ 10,902,334	事業未払金	448,976	1,565,017	△ 1,116,041
事業未収金	19,172,975	10,094,476	9,078,499	その他の未払金	1,537,853	1,671,993	△ 134,140
前払費用	22,250	22,250	0	職員預り金	488,487	670,415	△ 181,928
固定資産	51,357,068	48,841,732	2,515,336	賞与引当金	2,975,000	2,286,000	689,000
基本財産	1,000,000	1,000,000	0	固定負債	15,379,559	12,459,394	2,920,165
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	退職給付引当金	15,379,559	12,459,394	2,920,165
その他の固定資産	50,357,068	47,841,732	2,515,336	負債の部合計	20,829,875	18,652,819	2,177,056
車輦運搬具	1,817,571	2,336,876	△ 519,305	純 資 産 の 部			
器具及び備品	1,788,747	1,219,167	569,580	基本金	1,000,000	1,000,000	0
退職手当積立基金預け金	14,164,100	11,701,880	2,462,220	基本金	1,000,000	1,000,000	0
財政調整基金積立資産	32,586,650	32,583,809	2,841	国庫補助金等特別積立金	0	0	0
				その他の積立金	32,586,650	32,583,809	2,841
				積立金	32,586,650	32,583,809	2,841
				次期繰越活動増減差額	49,240,535	50,728,931	△ 1,488,396
				(うち当期活動増減差額)	△ 1,485,555	8,370,506	△ 9,856,061
				純資産の部合計	82,827,185	84,312,740	△ 1,485,555
資産の部合計	103,657,060	102,965,559	691,501	負債及び純資産の部合計	103,657,060	102,965,559	691,501

